



野菜を売りたい！

来週の10日（水）から、Wonder Farmer Projectで育てている夏野菜を、探究保護者サポーターの方に向けて販売します。野菜を売ったお金でお肉などの材料を買って、みんなで料理をする予定です。

今日は、既に収穫する時期になったキュウリやピーマンを、職員室にいる先生たちに売りにいきました。「失礼します」「ありがとうございます」といったあいさつをきちんとしながら人とかかわる姿が、とても素敵でした。職員も子どもたちの輝く笑顔にやられたのか、次々の野菜を買ってくれました。

また、子どもたちは、「早く保護者サポーターの人にも売りたいね！」と口々に言っていました。来週に向けて、きっとみんなで力を合わせてがんばってくれることでしょう。



【とれたての野菜を売りに行く子どもたち】

算数的な見どころ

この時期の2年生にとって、物売ってお金のやり取りをするのは、なかなか難しいことです。まず、「100をこえる数」と「2桁±2桁の筆算」を習っていません。

もし1つ100円のを2つと50円のを3つを買うお客さんがいたら、合わせていくらになるのか、そこに500円をわたされたら、おつりをいくら返さないといけないのか、頭の中は大混乱です。

こんな時に瞬時に計算できる子は、生きた計算力をもっていると言えますし、計算できなかった子も算数の有用性を実感することができます。もし野菜販売にお越しの際は、ぜひお金の計算ややりとりにご注目ください。

熟したら早く売らないといけないもの

子どもたちに、ナス、ピーマン、キュウリのような実を食べる野菜は、来週まで待たずに収穫すると伝えました。実が完熟すると種に栄養を与えるために、新しい実を作るのをやめてしまうからです。完熟した実がないと、野菜は種を残そうと次々と新しい実を作ってくれます。こういった知識や経験は、非常に有効に理科学習につながっていきます。

また、ピーマンは完熟すると赤くなります。なんとなく食べたらいけないような気がしますが、問題なく食べられます。日持ちの関係で日本ではあまり売られていませんが、苦みが少なくおいしいですよ。もし子どもたちが売っていたら試してみてください。



